

荒川小で全校稲刈りを実施 秋の恵みを丁寧に刈り取り

10月5日、荒川小学校（大坊隆校長）で全校稲刈りが行われました。5月20日に行われた田植えから約4カ月半。老人クラブやPTAの皆さんが管理に協力し、ついに実りの秋が到来。参加した34人の児童たちは、実りに感謝を込め丁寧に刈り取っていききました。刈り取り後は、5・6年生が農家の方々の指導の下はせがけを実施。ことしが最後の稲刈りとなった斎藤隆我君（6年）は「稲刈りは楽しい。今日の稲刈りは思い出に残るものになったと思います」と笑顔を見せました。



福祉団体同士のつながり深まる やまだ福祉まつりが開催

9月23日、町中央公民館などを会場に「第1回やまだ福祉まつり」が開催されました。町内17団体の協力で開催されたこのイベントは、町内の団体の活動を町民に知ってもらおうと同時に、震災後希薄となっていた福祉団体同士のつながりを深くすることを目的としています。会場には、バザーや飲食コーナー、各種体験コーナーなどが用意され、来場者は団体ごとの特色ある出店を楽しんでいました。このイベントの収益金の一部は、北海道胆振東部地震の義援金として被災地に寄付されます。

「流れに逆らわない」がモットー 境田の前川藤枝さん100歳に

9月24日、境田の前川藤枝さんが100歳を迎えました。前川さんは、青森県で6人兄弟の末っ子として誕生。結婚を機に本町に嫁ぎ、夫婦で漁業に従事してきました。「流れに逆らわない」がモットーの前川さん。その生き方が長生きにつながったのではないかとご家族は話します。25日には、入所する保健施設で祝う会が行われ、町長から長寿祝金が贈呈されました。大きなケーキと職員が捧げた『詩』でお祝いされた前川さん。「皆さんお集まりいただきありがとうございます」と、謝辞を述べました。



大浦小学校マリンロード清掃活動 不法投棄根絶への思い強く

10月5日、大浦地区住民と大浦小学校（佐藤あい子校長）の全校生徒19人がマリンロード清掃活動を行いました。これは、大浦地区と浦の浜を結ぶ約4kmの道のりを、ごみひろいをしながら歩くというもので、毎年行われています。今回子どもらが集めたゴミや、事前に地域住民が集めていたゴミを合わせると、集まったゴミは10袋以上。たばこの吸い殻や、空き缶が多く、児童らは根気強くゴミを拾い、活動を通して、ごみを捨ててはいけないという思いを強くしていました。



町のおだい

今月の題字 吉川 大輝君 (豊間根小6年)



織笠小学校



荒川小学校

浦和レッズの心育むサッカー教室 荒川小と織笠小で行われる

9月26日に荒川小学校(大坊隆校長)、27日に織笠小学校(佐藤均校長)と織笠保育園(湊希園長)で浦和レッズの皆さんによるハートフルサッカー in東北が行われました。荒川小学校では、31人の児童が参加。最初に行われたのは落合弘キャプテンによる心を育む講話。児童たちは「何事にも一生懸命取り組んでほしい」という熱のこもったお話に、真剣に耳を傾けていました。その後は、コーチの皆さんとサッカーをとおして交流。芳賀峻君(5年)は「サッカーは休み時間にしかやったことがなかったけど一生懸命できました」と感想を話しました。

阿部友里香さんが母校で講演 勇気持って挑戦を

本町出身でパラリンピック日本代表選手の阿部友里香さんが、9月21日、母校の山田中学校(佐々木慶信校長)で講演を行いました。佐々木校長との対話形式で東日本大震災から現在までの道のりを振り返った阿部さん。自身が挑戦し続けているバイアスロンなどの競技に関するクイズで生徒と交流した後「勇気を持って色んなことに挑戦することが大切」と、後輩たちにエールを送りました。講演を聞いた3年の小林夢花さんは「どんな困難にでも立ち向かう姿を見て、夢を目指す決意が強まった」と、挑戦する意欲を高めていました。

